

2026年3月25日
株式会社新日本科学

<https://snbl.com>

(証券コード：2395 東証プライム)

当社の「粉体噴射型 IgA 産生誘導経鼻ワクチンシステムの開発」が AMED の継続支援事業に採択されました

株式会社新日本科学（本店 鹿児島県鹿児島市、代表取締役会長兼社長：永田良一、以下「当社」）は、2023年4月に経鼻粘膜ワクチン研究開発センター（センター長：宮澤正顕）を立ち上げ、「そもそも感染を起こさせないこと（遮断免疫）」を狙った経鼻粘膜ワクチンの研究開発を鋭意進めております。2024年3月に「粉体噴射型 IgA 産生誘導経鼻ワクチンシステムの開発」が国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）内に設立された先進的研究開発戦略センター（SCARDA）が公募した令和5年度「ワクチン・新規モダリティ研究開発事業」において、開発支援すべき課題として採択され、AMED との委託契約を得て研究開発を同センターにて進めてまいりました。この度、この研究開発課題の中間評価結果（評価 A 注）を踏まえ、AMED より委託研究開発費の追加も含めた研究開発支援の延長が決定されましたので、お知らせいたします。

「粉体噴射型 IgA 産生誘導経鼻ワクチンシステムの開発」の中間評価結果は、非臨床 POC（Proof of Concept）を達成したことから、契約開始日から2026年3月31日までだった研究開発期間について、2029年3月31日までの3年間の延長を承認するというものです。具体的には、当社が開発した粉体経鼻投与方法を用いることで、鼻腔洗浄液中に分泌型 IgA 産生が誘導され、鼻粘膜におけるインフルエンザウイルス感染成立を防ぐ効果を示すことをカニクイザルで示すことができました。



国立研究開発法人 日本医療研究開発機構

先進的研究開発戦略センター



SCARDA

中間評価結果の詳細については、以下 AMED ウェブサイトをご参照ください。

- ・ [令和7年度ワクチン・新規モダリティ研究開発事業における中間評価](#)
- ・ [中間評価結果報告書](#)

また、当社トランスレーショナルリサーチ（TR）事業の取組みについては、[当社ウェブサイト](#)も併せてご参照ください。新日本科学はこれからも「環境、生命、人材を大切にする会社であり続ける」の企業理念に基づき、TR 事業や子会社の活動を通じて、「人類を苦痛から解放する」という当社使命を果たすべく、実直に行動を続けてまいります。

以上

【本件に関するお問い合わせ】

(株)新日本科学 IR 広報統括部

TEL: 03-5565-6216

E-mail: ir@snbl.com

注 評価 A：計画どおり又は計画を超えて進捗が認められた／計画した成果を上回る成果が得られた。